

2011年4月1日

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス

中村光原作・大人気コミック
「荒川アンダー ザ ブリッジ」
テレビドラマ化および映画化決定のお知らせ

株式会社スクウェア・エニックス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：和田 洋一）は、当社発行のコミック誌「ヤングガンガン」にて絶賛連載中の中村光による大人気コミック「荒川アンダー ザ ブリッジ」（1～11巻）のテレビドラマおよび映画化が決定したことを、お知らせいたします。

テレビドラマ：2011年夏、MBS・TBS 深夜枠にて放送

映画：2012年春、劇場公開

「荒川アンダー ザ ブリッジ」は、2004年より「ヤングガンガン」で連載が開始された作品で、2010年にはテレビ東京系でテレビアニメ化されました。このたび、2011年夏にMBS・TBS深夜でテレビドラマ化、そして、2012年春に映画化されることが決定いたしました。なお、キャストは追って発表いたしますので、ぜひご期待下さい。

■テレビドラマ&映画化についてのコメント

<原作者：中村光さん>

TV アニメにつづき、テレビドラマ化と映画化が決定しました。アニメだけでも満足でしたのに、ドラマと映画にもして頂けるなんて、感謝の気持ちでいっぱいです。脚本を拝見させていただきましたが、原作を尊重して頂きながらも遊び心あふれる仕掛けがいっぱいで、とても楽しいです。演じてくださるキャストさんもイメージぴったりで、それにとっても豪華です。こんな機会に巡り合えたのも、応援してくださる皆様のおかげです。ありがとうございます。

<監督：飯塚健さん>

◆「荒川アンダーザブリッジ」映像化にあたって

もう3年ほど前になるのでしょうか。ですが、初めてお話を頂いた時の、あのわくわく感はまるで一昨日のように覚えています。ですがその直後、どんな映画脚本にしたらいいだろう、と生まれたての羊のように震えた、あのぶるぶる感もまるで昨日のように覚えています。その後、中村さんの寛大なマゴコロのもとで、村長と並ぶくらいの自由さで、話を書かせて頂きました。本当に、感謝の限りです。きっと明日は元気になる、とそんな作品にしたいと思っています。

◆現場の雰囲気について

下は10代と言わず8歳から上は50代まで、スタッフ&キャスト総勢100人を超える面々で丸となってわいわいやっております。が、決して『アットホーム』というぬるーい感じではなく、『適切な距離感』ならぬ、『適切な緊張感』を持って向かうべきゴールへひた走っている、とまあそんな感じでしょうか。

未曾有のできごともありましたが、我々にやれることは一つしかない、とそんな想いで完走したいと思います。

ご期待頂ければ、これ以上嬉しいことはございません。

「荒川アンダー ザ ブリッジ」

原作：中村光（掲載「ヤングガンガン」スクウェア・エニックス刊）

権利表記：©中村光／スクウェアエニックス・AUTB パートナーズ

公式サイト：<http://autb.jp/>（※4月1日正午より開設）

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックスについて

株式会社スクウェア・エニックスは、エンタテインメント分野において、創造的かつ革新的なコンテンツ／サービスのヒット作品を生み続けるリーディングカンパニーです。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数5,700万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（同9,700万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（同3,500万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。

<http://www.square-enix.com/jp/>

※SQUARE ENIXおよびSQUARE ENIXロゴ、タイトー／TAITO、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。